

2000年 4月6日の午前2:50 才2子(次せ) 3.650g (No.1)

才1子は 嫁ぎ先である静岡で 普通の産婦人科医院で出産しました。 その時は、
何の問題もなく出産できたのですが、 なぜか 「次は里帰り出産するぞ」という思い
でいっぱいになりました。 理由としては、 才1の姉も この中嶋助産院で 2人の
子供を 出産していたので、 話をよく聞かせてくれていたからです。
病院では ほかほか 味あえない事も、 助産院では 味あえるような気分だったので。

94月に入り初めてこちらへ^{才1子と一緒に}健診を受けに来たのに、 ~~初~~ 初めて会って話を聞いたとは
思えないような感じで、 何の不安も感じられませんでした。 こういうふうに思えば、
私だけじゃなく 夫も同じでした。 「うまく言えないけど、 安心してまかせられるって
思える人だよわ」と 才1に言っていました。

この健診後、 切迫早産でまる3週間^{南会津病院で}入院する事になり絶対安静とラテミン^薬の投与
が続き 退院する時には 体全体の筋肉が ちとろえてしまっている。 自分の体を支えて
歩くことが 困難なくらいでした。 こんな状態で 出産を~~ま~~かえる事ができるのかと、
ますます不安になりました。 でもこんな時、 姉が ゆったりとした口調で
「大丈夫、 そんなに不安がらなくても、 赤ちゃんは 自分が出てきたい時に、 自分のかで
出てくるよ」と、 私に言ってくれました。 私には その言葉が 康乃先生の言葉と
かさばったので、 とても ホッとしたのである。

そして予定日の4月5日の午後、 康乃先生に健診して頂き、「もういつ産まれても
いいわね。」と言われて帰った。 その夜中の12時半に 激痛で目がさめ、
もうかし様子をしようとして1時間経過した時に、 バシッと大きな音とともに
どんどん流れ出る羊水。 自分でもこの陣痛と破水のいきおいでは
長い時間は つからなそうと思い、 とどりの部屋で 寝ていた姉をおこし、
父と母にも知らせ、 荷物の準備等をあわせてから、 康乃先生へ連絡。
「じゃあ、 これから来て」と言われて、 急いで車に乗り、 家の近所まで
母にまかせて、 運転を父に、 腰をさあて 付き添ってくださるのかと姉、
という状況で、 助産院に着くまでの40分は「ヒューヒュー」をくり返して
いました。 私は後部座席で横になっていたのですが、 外の様子が 見えず、
あとどのくらいで着くのか 気になって、 ためりませんでした。 そんな時、 父が
「もう少した!!」と声をかけてくれたので、「うん、 頑張る。」と言いました。
(たぶん 声が小さくて、 父には聞こえなかったでしょう。)

~ NO.33へ 続きを書かせて頂きます。 ~ 4/9(日) 水野

※偶然にもNO.31の最後のページとくっついても私の姉のためで、 なんにかうれしい気分です。

~ NO.32 から引き続き ~

2000年(平成12年) 4月6日(木) 午前2:50 第2子(次女) 3.650g (No.2)

車が止まると 私の目には 一つの光がとび込んできました。真暗な中で「中嶋助産院」の看板だけが光輝いて見えたのです。(ドラマの一場面のようにでした。) 中に入って 2-3分してからすぐに分娩台にとり、あとはいまむだけなのに いまみの合間が とても寝むくなり 付き添っていた姉の声も聞こえなくなる程でした。「目を開けなさいよ!」と言われたのに気が付き、再度目のいまみで「あ、出てくる」と確信。その瞬間 会陰部分が熱くなるのを初めて感じました。病院では 会陰切開をする為、このような熱さを感じる事がなかったのです。そして赤ちゃんが生まれ、私の胸にのせられた時、「ほんとにきれいな姿で出てきたんだらう」と見いってしまいました。

今回は夫が立ち合う事ができなかったのも、代わりに姉に立ち合ってもらい、出産の場面をビデオに撮ってもらいました。姉は私にとって第2の母であり、信頼できる大好きな女性なので、立ち合ってくれた事にとても感謝しています。

産後は、何故か故郷や家族(実家)を思い出す事が多く涙が止まりませんでした。なつかしい思い出がこみあげてきて、そうやってしまったのです。それに入院中の康乃先生の私たちに接する姿を見ていると、安心する気分になれるので、「家族」を思う時間が増したのだらうと思います。

本当に康乃先生には感謝の気持ちで一杯です。

出産後 日数がたっているのに「また次の子もここで産みたい」と強く思うのです。主人にそう言ったら「何人頑張るの?」と笑われてしまいましたけど、その後には「でも、ここでなら 何人でも頑張れるね」と主人も言ってくれました。

私達 家族全員、先生に感謝しています。本当にお世話になりました。また次の子もとりあけて下さいね。

お体に気を付けて頑張ってください。いつまでも若々しい先生で。

4/9(日) 水野